報道提供資料

2021（令和３）年６月８日

報道関係者各位

公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会

大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025」プログラム
「共創チャレンジ キックオフミーティング ＝未来への宣言＝」
オンライン開催

公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会は、６月 26 日（土）に、大阪・関西万博への理解を深め、「TEAM EXPO 2025」プログラムへの参画を促進するため、トークイベント「共創チャレンジ キックオフミーティング ＝未来への宣言＝」をオンラインにて開催します。

理想とする未来社会の実現に向けてチームで活動する「共創チャレンジ」にスポットを当てたトークイベントとしては、今回が初めての開催となります。

トークセッションのコーナーでは、「共創チャレンジ」として参画する４チームの代表者がそれぞれの活動を発表し、「共創チャレンジ」の創出や支援を行う「共創パートナー」と議論を繰り広げます。また、2021 年３月末までに登録された 100 を超える「共創チャレンジ」参加チームから集めた写真を「未来への宣言」として一つにまとめた映像を、本イベントに向けて制作し放映します。

記

1. 日時　　2021 年６月 26 日（土）13：00～14：35
2. 主催　　（公社）２０２５年日本国際博覧会協会、経済産業省

※本イベントは、世界経済フォーラムが主催する「Global Technology Governance Summit（GTGS）」における、日本政府サイドイベントの一環として実施します。

3. 形式　　オンライン配信
4. プログラム（敬称略）※登壇者・内容は変更になる可能性があります。

13:00～13:10　オープニング　メッセージ

（公社）２０２５年日本国際博覧会協会　事務総長　　石毛　博行

13:10～13:15　石川プロデューサーに聞く「共創チャレンジ」って何！？

大阪・関西万博　会場運営プロデューサー　　石川　勝

13:15～13:20　共創チャレンジ　未来への宣言！

※共創チャレンジ参加チームの紹介映像を公開

13:20～14:30　トークセッション　「共創チャレンジミーティング」

【プレゼンテーター（共創チャレンジ参加チーム代表者）】

チーム U-15 防災×大阪防災プロジェクト　共同代表　　出水　眞由美

うぇぽっく(Co-Lab-Gears 2020)　代表　　森山　和

MAGO　代表　長坂　真護
（特非）ゼリ・ジャパン　理事兼事務局長　竹内　光男
【ファシリテーター】　*は「共創パートナー」
（株）にっぽんの宝物*　代表取締役　羽根　拓也
【コメンテーター】（50 音順）　*は「共創パートナー」
大阪・関西万博　会場運営プロデューサー　石川　勝
（株）morning after cutting my hair*　代表取締役　田中　美咲
（学）先端教育機構　事業構想大学院大学*学長　田中　里沙

14:30～14:35　クロージング　メッセージ

経済産業省　近畿経済産業局長　米村　猛

5. 参加費　無料（要事前申込）

6. 参加申込及び視聴方法

下記 URL より、お申し込みください。（※申し込みには Peatix へのログインが必要となり、初めての方は新規登録＜無料＞が必要となります。）

https://teamexpo2025-talkevent-210626.peatix.com

申し込み後、イベント視聴ページの URL を記載したメールが送付されますので、当日は視聴ページへアクセスしご参加ください。

※なお、「TEAM EXPO 2025」プログラム公式ウェブサイトで、後日アーカイブ動画を視聴いただけます。

7. 参加申込受付期間

2021 年 6 月 8 日（火）14:00～本イベント終了時まで

（ご参考）

「TEAM EXPO 2025」プログラム　公式ウェブサイト　https://team.expo2025.or.jp/

以上

（問合せ先）
●本イベントに関すること
公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会 戦略事業部 戦略事業課
TEL：06-6625-8659

●大阪・関西万博に関すること
公益社団法人２０２５年日本国際博覧会協会 広報部
TEL：06-6625-8654

本件は大阪経済記者クラブ、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、
近畿経済産業局記者会、経済産業記者会、経済団体記者会に配布しています。

<ご参考>

【登壇者プロフィール】

●プレゼンテーター（共創チャレンジ参加チーム代表者）

チーム U-15 防災×大阪防災プロジェクト　共同代表

出水　眞由美（いずみ　まゆみ）

大学卒業後、（公財）大阪国際交流センターにて国際交流事業に携わる。東日本大震災で多くのこどもの命が失われたことを知り、U-15 世代を中心とした防災教育に取り組み始める。2013 年に非営利団体「ママコミュ！ドットコム」を設立。日本防災士機構認証防災士。家族全員が防災士として各々の視点から防災に携わる。2025 年を見据え、「防災力日本一の大阪」の実現を担う次世代の防災教育に取り組んでいる。

うぇぽっく(Co-Lab-Gears 2020)　代表

森山　和（もりやま　いずみ）

関西学院大学人間福祉学部人間科学科 3 年。2020 年 4 月より次世代共創リーダー育成プロジェクトに参加。5 月に現うぇぽっくのメンバーでチームを組み、認知症課題に取り組むことを決める。高校 3 年生の時に祖父を亡くした経験を契機に、高齢者医療やヘルスケア、倫理学に興味をもち、大学ではグリーフケアや死生学、生命倫理学を中心に学んでいる。

Photo by Fukuda Hideyo

MAGO　代表

長坂　真護（ながさか　まご）

1984 年生まれ。MAGO CREATION（株）代表取締役、美術家。2017 年 6 月電子機器の墓場と言われるガーナのスラム街アグボグブロシーを訪れ、先進国が捨てた電子機器を燃やし生計を立てる人々と出会う。アートの力を使いこの事実を先進国に伝えることを決意。「サスティナブル・キャピタリズム」を提唱し、ガスマスクをガーナに届け、スラム街初の学校、ミュージアムを設立。この軌跡をエミー賞受賞監督カーン・コンウィザーが追いドキュメンタリー映画を制作し、公開へ向けて準備中。

（特非）ゼリ・ジャパン　理事兼事務局長

竹内　光男（たけうち　みつお）

サラヤ（株）環境事業推進部長、 東京サラヤ（株）管理本部 産学官連携事業部長、サラヤエスビーエス（株）取締役開発推進部長、グリーン購入ネットワーク代表理事、（特非）サステナビリティ日本フォーラム評議員、CEN 気候非常事態ネットワーク事務局長、元消費者庁「倫理的消費」調査研究会委員、農林水産省グローバル・フードバリューチェーン推進官民協議会メンバー。

●ファシリテーター

（株）にっぽんの宝物　代表取締役
羽根　拓也（はね　たくや）

90 年代、ハーバード大で日本語講師として教鞭をとりながら、米国式教授法を研究。94 年、同大より「優秀指導証書」を授与。97 年、（株）アクティブラーニングを設立。アジア各国の人材育成、新規事業開発、DX 支援に携わり、高い評価を得ている。09 年、地方の隠れた良い商品を育て、販売支援する「にっぽんの宝物」プロジェクトを始動。自治体等と組み、数々のヒット商品を生みだし、ガイアの夜明け等に多数出演。

●コメンテーター

大阪・関西万博　会場運営プロデューサー
石川　勝（いしかわ　まさる）

(株）シンク・コミュニケーションズ代表取締役。プランナー。大阪市立大学客員教授。1963 年札幌市生まれ。博覧会や展示会を数多く手掛け、2005 年愛知万博ではチーフプロデューサー補佐として基本計画策定に従事、ロボットプロジェクト、愛･地球広場、極小 IC 入場券をプロデュース。ロボット分野、コンテンツ技術分野に専門性を持ち、2006 年から 2016 年までの 10 年間、東京大学 IRT 研究機構プロジェクトマネージャー・IRT コンテンツ部門長。

（株）morning after cutting my hair　代表取締役
田中　美咲（たなか　みさき）

1988 年奈良県生まれ。東日本大震災を機に、福島県における県外避難者向けの情報支援事業の責任者を担う。2013 年「防災をアップデートする」をモットーに一般社団法人防災ガール創設、2020 年事業継承。2018 年社会課題に特化した人材育成と企画・PR の会社 morning after cutting my hair, Inc.創設。2020 年より、インクルーシブファッション「SOLIT」を創設、代表取締役。第 32 回人間力大賞経済産業大臣奨励賞受賞。フランス Sparknews が選ぶ世界の女性社会起業家 22 名に日本人唯一選出。

（学）先端教育機構　事業構想大学院大学　学長
田中　里沙（たなか　りさ）

広報・広告・マーケティングの専門誌「宣伝会議」編集長、取締役編集室長を経て、2016 年より事業構想大学院大学学長。新規事業、事業承継、地方創生の研究及び共創による人材育成に取り組む。地方制度調査会、財政制度等審議会、中央環境審議会、社会資本整備審議会等の委員。「クールビズ」ネーミング、東京 2020 エンブレム委員も務めた。情報番組のコメンテーターとしても活動。